



参加者の意気込みが仮装で表現されています！

夜空に再会の願いを込めて 天の川まつり

8月14日(水)、夏の風物詩である『天の川まつり』が開催され、約4,000人が来場しました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、北海道大学のYOSAKOIサークル「縁」や来場者の熱気で、会場内は盛り上がりしました。

また、今年で3回目となる仮装大会が大人の部と子どもの部に分かれて行われました。仮装のクオリティはそれぞれさらに進化し、織姫やテトリス、アスパラ、バカ殿などバラエティー豊かなキャラクターが勢ぞろいしました。

最後には2,500発の花火が打ち上げられ、会場からは打ち上げられるたびに、歓声と感動の声があがりました。



流れゆく灯り見送る 汐吹の灯籠流し

8月16日(金)、汐吹漁港近くののち浜にて毎年恒例の夏の風物詩『灯籠流し』が行われ、汐吹地区在住の町民たちが持ち寄った灯籠200丁が海面に浮かべられました。

当日は強風が吹き荒れていたため、浮かべられた灯籠の多くは倒れてしまうものもありましたが、きれいな夕陽が沈んでいく中、海へ灯籠が流されていく幻想的な風景でした。

灯籠流しは、死者の魂やご先祖の霊を弔う儀式の一つとされていることから、灯籠を見送る参加者の中には祈りを捧げる方もいました。



町内各地区で笑顔満開！ 太賑わいの盆踊り大会

8月15日(木)の新村地区からはじまり、17日(土)は上ノ国地区、20日(火)は大留地区で、町内会主催の盆踊り大会が開催されました。

上ノ国町内会の盆踊り大会では、ビールや焼き鳥、焼きそば、おでんなどが出店で販売され、食べ飲みしながら話に花を咲かせ、交流を深めていました。

仮装大会には、カオナシや叶姉妹、ミニオンなどクオリティの高い参加者たちが櫓を囲んでみんなで踊り、入賞に向けてアピールして観客を盛り上げていました。最後のお楽しみ抽選会も大賑わいで、お盆期間を楽しく締めくくった催しとなりました。